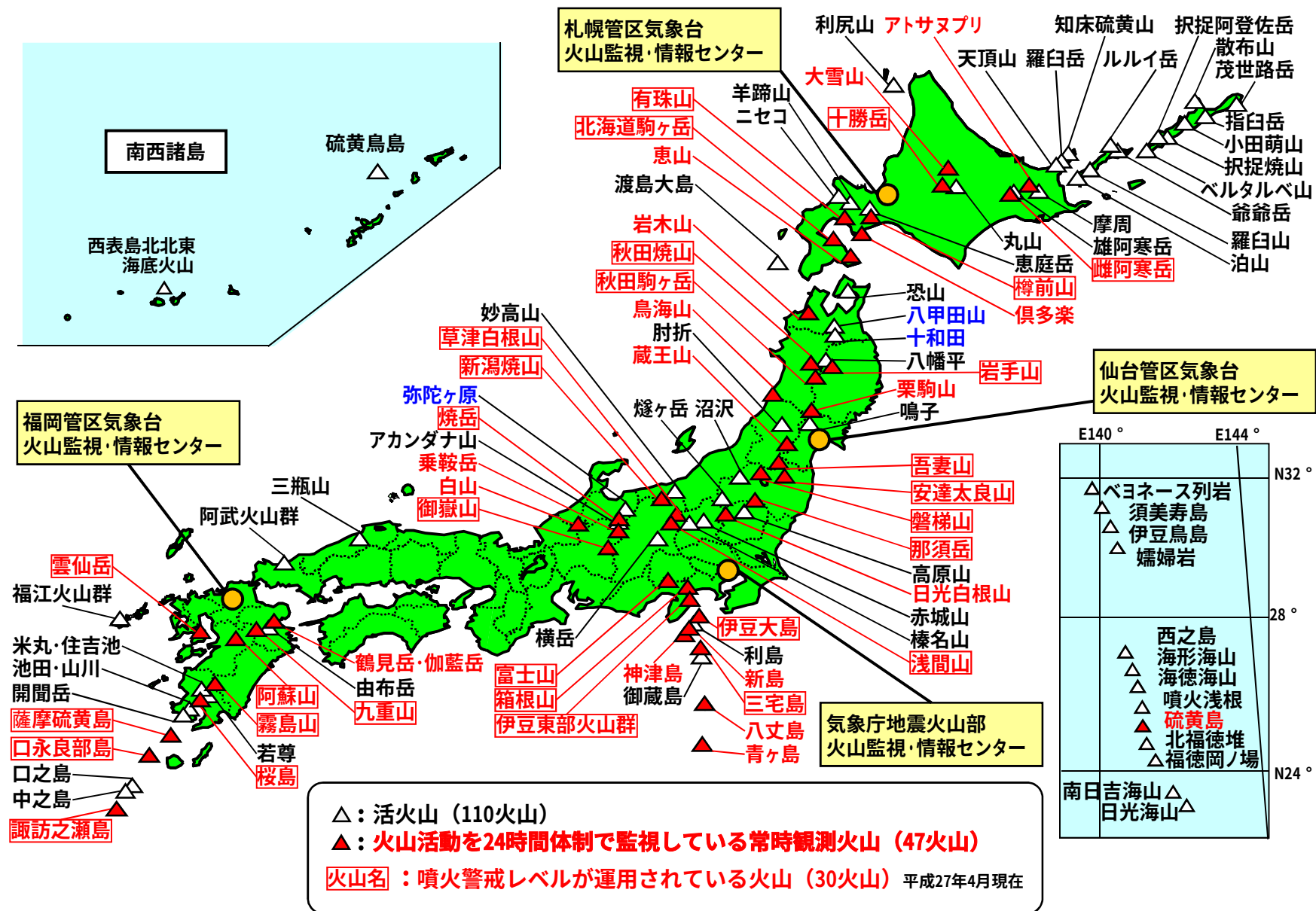


山岳救助活動の高度化等検討会 (第1回)
気象庁 情報提供

火山に関する各種情報と御嶽山噴火の対応

平成27年7月28日
気象庁地震火山部火山課 火山防災情報調整室
火山防災調査官 長谷川 安秀

我が国の110活火山と47常時観測火山

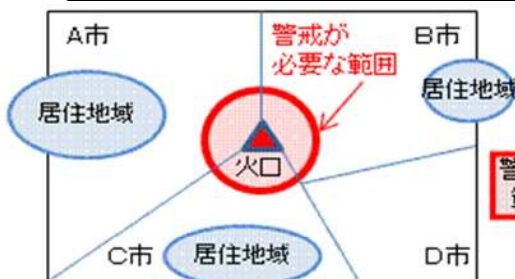


噴火警報・噴火予報は何を発表しているのか

○噴火警報は

噴火に伴って発生し、生命に危険を及ぼす火山現象（**大きな噴石、火砕流、融雪型火山泥流等**）の発生やその拡大が予想される場合に、「**警戒が必要な範囲**」（生命に危険を及ぼす範囲）を**明示して発表**。

「警戒が必要な範囲」が**火口周辺**に限られる

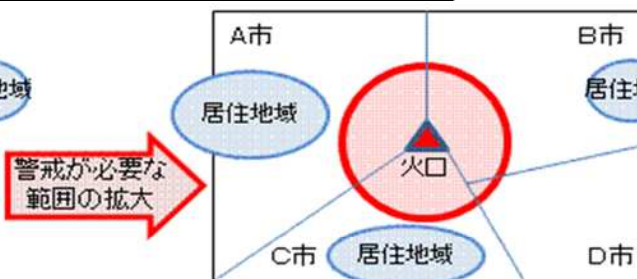


噴火警報（火口周辺）

入山規制等が必要な市町村：
A市、B市、C市

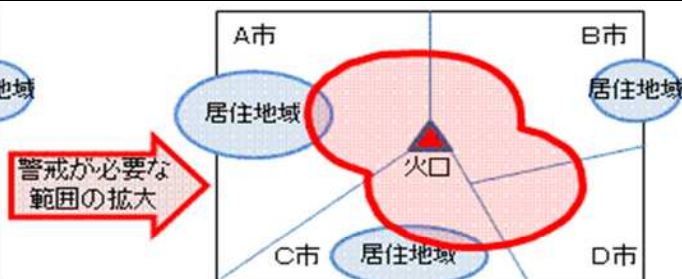
※警戒が必要な範囲は必ずしも同心円とは限らず、
火山活動の各段階に対して火山ハザードマップに基づいて設定されています。

「警戒が必要な範囲」が**居住地域**まで及ぶ



噴火警報（火口周辺）

入山規制等が必要な市町村：
A市、B市、C市、D市



噴火警報（居住地域）※

避難等が必要な市町村：A市、C市
入山規制等が必要な市町村：B市、D市

※噴火警報（居住地域）は特別警報に位置づけられています

火山現象の発生を確認してからの避難では間に合わない。噴火の前兆を捉えて住民等を事前に避難させる体制が必要。
噴火警報の発表、避難計画の共同策定は、主にこれら3現象を対象として実施されている。



1986.11.19 東京都提供
大きな噴石（平成12年有珠山）



火砕流（平成3年雲仙岳）



上富良野町提供
融雪型火山泥流（大正15年十勝岳）



溶岩流（昭和61年伊豆大島）
1986.11.19 東京都提供



土石流（桜島）
1984.8.25
国土交通省大隅河川国道事務所提供

噴火警報・噴火予報の呼び方・噴火警戒レベル

○ 噴火警戒レベル未対象火山

種別	名称	対象範囲	警戒事項等 (キーワード)	火山活動の状況
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域及び それより火口側	居住地域及び それより火口側の範囲に における噴火警戒 居住地域厳重警戒	居住地域に重大な被害を及ぼす 噴火が発生、あるいは発生すると 予想される。
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域近くまでの 広い範囲の火口周辺	火口から 居住地域近くまでの 広い範囲の火口周辺 における警戒 入山危険	居住地域の近くまで重大な影響 を及ぼす(この範囲に入った場合 には生命に危険が及ぶ)噴火が 発生、あるいは発生すると予想さ れる。
		火口から 少し離れた所までの 火口周辺	火口から 少し離れた所までの火口周辺 における警戒 火口周辺危険	火口周辺に影響を及ぼす(この 範囲に入った場合には生命に危 険が及ぶ)噴火が発生、あるい は発生すると予想される。
予報	噴火予報	火口内等	活火山であることに 留意	火山活動は静穏。 火山活動の状況によって、火口 内で火山灰の噴出等が見られる (この範囲に入った場合には生 命に危険が及ぶ)。

○ 海底火山

種別	名称	対象範囲	警戒事項等 (キーワード)	火山活動の状況
警報	噴火警報 (周辺海域)	周辺海域	海底火山及びその周辺海域 における警戒 周辺海域警戒	海底火山の周辺海域に影響を及 ぼす程度の噴火が発生、あるい は発生すると予想される。
予報	噴火予報	直上	活火山であることに 留意	火山活動は静穏。 火山活動の状況によって、変色 水等が見られることがある。

○ 噴火警戒レベル対象火山

種別	名 称	対象範囲	レベルとキーワード	説明		
				火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及び それより 火口側	レベル5 避難	居住地域に重大な被害 を及ぼす噴火が発生、あ るいは切迫している状態 にある。	危険な居住地域から の避難等が必要(状 況に応じて対象地域 や方法等を判断)。	
			レベル4 避難準備	居住地域に重大な被害 を及ぼす噴火が発生する と予想される(可能性が 高まってきている)。	警戒が必要な居住地 域での避難の準備、災 害時要援護者の避難 等が必要(状況に応じ て対象地域を判断)。	
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで 火口周辺	レベル3 入山規制	居住地域の近くまで重大 な影響を及ぼす(この範囲 に入った場合には生命に危 険が及ぶ)噴火が発生、あ るいは発生すると予想さ れる。	通常の生活(今後の 火山活動の推移に注 意。入山規制)。状 況に応じて災害時要 援護者の避難準備等。	登山禁止・入山規 制等、危険な地域 への立入規制等 (状況に応じて規制 範囲を判断)。
			レベル2 火口周辺 規制	火口周辺に影響を及ぼす (この範囲に入った場合 には生命に危険が及ぶ) 噴火が発生、あるいは発 生すると予想される。	通常の生活。	火口周辺への立入 規制等(状況に応 じて火口周辺の規 制範囲を判断)。
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 活火山である ことに留意	火山活動は静穏。 火山活動の状況によっ て、火口内で火山灰の噴 出等が見られる(この範 囲に入った場合には生 命に危険が及ぶ)。	通常の生活。	特になし(状況に 応じて火口内への 立入規制等)。

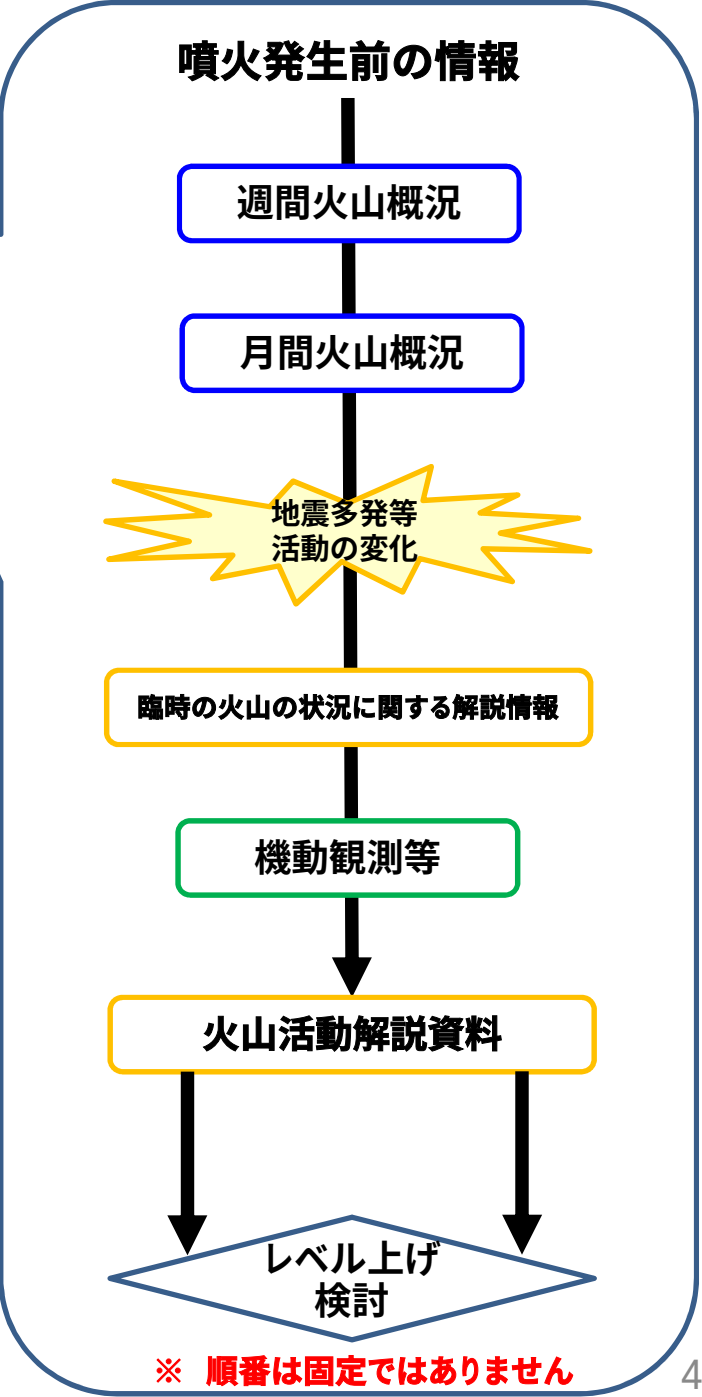
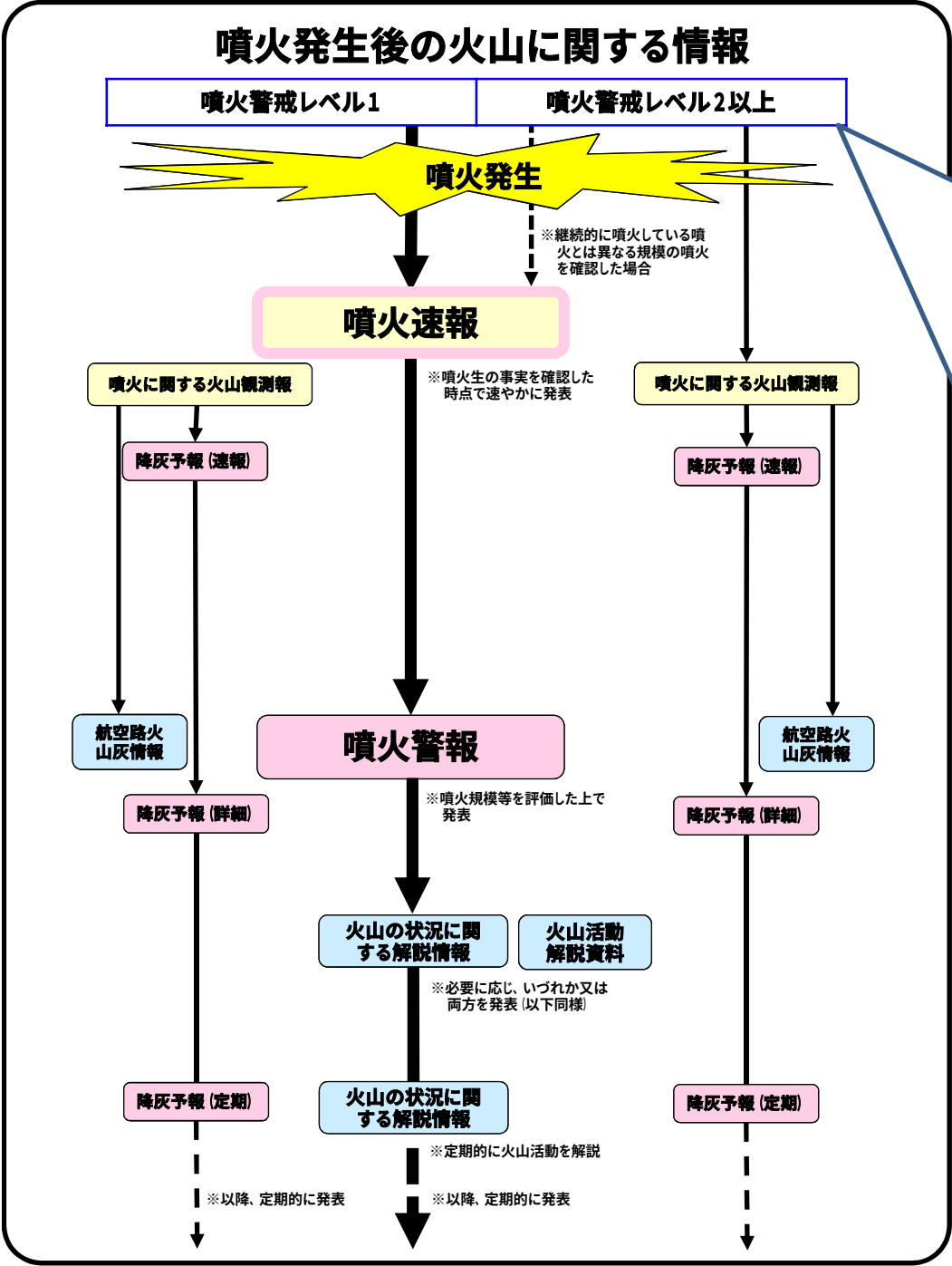
注1: 住民等の主な行動と登山者・入山者への対応には、代表的なものを記載。

注2: 避難・避難準備や入山規制の対象地域は、火山ごとに火山防災協議会での共同検討を通じて地域防災計画等に定められています。ただし、火山活動の状況によっては、具体的な対象地域はあらかじめ定められた地域とは異なることがあります。

注3: 表で記載している「火口」は、噴火が想定されている火口あるいは火口が出現しうる領域(想定火口域)を意味します。あらかじめ噴火場所(地域)を特定できない伊豆東部火山群等では「地震活動域」を想定火口域として対応します。

○ 噴火警戒レベルが運用されている火山

雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(新燃岳)、霧島山(御鉢)、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島



その他の火山に関する情報

○ 噴火警報及び噴火予報以外の解説を主とする情報

種 類	概要及び発表の時期
火山の状況に関する解説情報	火山性地震や微動の回数、噴火等の状況や警戒事項について、必要に応じて定期的または 臨時 に解説する情報
火山活動解説資料	地図や図表を用いて、火山活動の状況や警戒事項について、定期または必要に応じて 臨時 に解説する資料
週間火山概況	過去一週間の火山活動の状況や警戒事項をとりまとめた資料
月間火山概況	前月 一ヶ月間の火山活動の状況や警戒事項をとりまとめた資料

いずれの情報も「気象庁のホームページ」に掲載されます。

URLは <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

○ その他の情報

月間火山概況発表に合せた 「火山の状況に関する解説情報」	毎月 の月間火山概況の発表にあわせて、全国の活火山の噴火警報・予報の発表状況をお知らせする情報
噴火に関する火山観測報	噴火が発生した時に、発生時刻や噴煙高度等をお知らせする情報
降灰予報（定時・速報・詳細） と火山ガス予報	噴火の発生と対応行動の関係より、求められる発表のタイミングや内容が異なることから、噴火後に、どこに、どれだけの量の火山灰が降るかについて、「降灰予報（定時）」「降灰予報（速報）」「降灰予報（詳細）」の3種類の情報として発表する。 居住地域に長期間影響するような多量の火山ガスの放出がある場合に、火山ガスの濃度が高まる可能性のある地域をお知らせする。（現在は、三宅島のみを対象に実施。）

御嶽山の噴火 気象庁の対応



▲9/27 11:52 噴火



(噴火は10月10日にかけて確認)

10月11日以降は火山灰は確認されず、
火口からは白色の噴煙継続

情報発表

9/27 12:36
火口周辺警報発表
(噴火警戒レベル1→3に引
上げ) 火口から4kmで大き
な噴石に警戒。

9/28 19:30
火口周辺警報発表
(噴火警戒レベル3切替)
火砕流にも警戒。

9/28～
現地での搜索活動や作業員に対して火山活動の急変や異常現象発見時に直
接危険を伝達

評価

9/27
解説情報、降灰予報
等 随時発表

9/28～10/24
・解説資料：毎日発表
・降灰予報：9日まで6時間毎発表
・解説情報：3時間毎発表

10/25～
・解説資料：2回／週 (月、金)
・解説情報：2回／日 (8時、16時)

評価

予知連絡会
火山噴火

9/28 拡大幹事会

10/23 予知連絡会

職員派遣

観測

9/27～現地に機動班派遣
(ガス観測、降灰調査等)



観測

9/28～ ヘリによる上空か
らの観測に派遣 (計8回)



9/28～10/17
現地災害対策本部に派遣
(火山活動解説、搜索活動支援等)



機動班による観測継続

9/28 現地災
害対策本部

10/17 本部クローズ

9/27 関係省庁
災害対策会議

9/28 政府調査団派遣
非常災害対策本部設置

10/10
政府調査団派遣

気象庁

政府

現地災害対策本部等で提供した資料など



御嶽山の火山活動解説資料

気象庁 地震火山部
火山監視・情報センター

御嶽山では、昨日(27日)11時52分、噴火が発生しました。山頂付近の噴火時の状況は視界不良のため不明でしたが、中部地方警備隊が設置している遠望カメラにより南麓斜面を噴煙が流れ下り、3kmを越えたと見られます。

昨日(27日)12時36分に火山活動監視所を開設し、噴火警戒レベルを1(平常)から3(火山活動)に引き上げました。

御嶽山では、現在から4km程度の範囲では大きな噴煙の発生等に警戒してまいります。

風下側では火山灰がだけでなく小さな噴石(火山れき)が遠方まで飛んで降るおそれがあるため注意してください。

噴煙が遠方に飛ぶ大きな原因によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

● 活動状況

● 27日の噴火(図2～6、表1)

昨日(27日)11時52分、噴火が発生しました。山頂付近の噴火時の状況は視界不良のため不明でしたが、中部地方警備隊が設置している遠望カメラにより南麓斜面を噴煙が流れ下り、3kmを越えたと見られます。

昨日(27日)12時36分に火山活動監視所を開設し、噴火警戒レベルを1(平常)から3(火山活動)に引き上げました。

御嶽山では、現在から4km程度の範囲では大きな噴煙の発生等に警戒してまいります。

風下側では火山灰がだけでなく小さな噴石(火山れき)が遠方まで飛んで降るおそれがあるため注意してください。

噴煙が遠方に飛ぶ大きな原因によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

● 噴火に至るまでの活動の経過(図6～9、表1)

御嶽山では、2007年5月以降にいくつ小規模な噴火が発生しましたが、その後の噴火活動は継続していません。9月10日から11日にかけて、御嶽山山頂付近の火山活動が活発化しましたが、その後次第に減少してまいりました。

● 噴火の経過、噴火の発生時刻を11時52分から11時53分まで修正しました。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器、火山体表面へのマダマの侵入等により変化が観測されることがあります。1マダマの傾斜は1km先が1mm変化する程度です。

2) Global Navigation Satellite System(以下、GNSS)を用いた山体の傾斜観測システムは現在です。

火山活動監視所(平成26年9月28日 07時30分現在)

火山活動監視所(平成26年9月28日 07時30分現在)

火山活動監視所(平成26年9月28日 07時30分現在)

図6 御嶽山 日別地震回数(2014年8月1日～9月28日06時)(速報値含む)

表1 御嶽山 地震回数(速報値含む)

左: 日別回数(2014年8月1日～9月28日06時)

右: 時間別回数(2014年9月27日～9月28日06時)

日	回数	日	回数	時間	回数
8月1日	1	9月27日	0	0時	0
8月2日	0	9月28日	0	1時	0
8月3日	0			2時	0
8月4日	0			3時	0
8月5日	0			4時	0
8月6日	0			5時	0
8月7日	0			6時	0
8月8日	0			7時	0
8月9日	0			8時	0
8月10日	0			9時	0
8月11日	0			10時	0
8月12日	0			11時	0
8月13日	0			12時	0
8月14日	0			13時	0
8月15日	0			14時	0
8月16日	0			15時	0
8月17日	0			16時	0
8月18日	0			17時	0
8月19日	0			18時	0
8月20日	0			19時	0
8月21日	0			20時	0
8月22日	0			21時	0
8月23日	0			22時	0
8月24日	0			23時	0
8月25日	0			0時	0
8月26日	0			1時	0
8月27日	0			2時	0
8月28日	0			3時	0
8月29日	0			4時	0
8月30日	0			5時	0
8月31日	0			6時	0
9月1日	0			7時	0
9月2日	0			8時	0
9月3日	0			9時	0
9月4日	0			10時	0
9月5日	0			11時	0
9月6日	0			12時	0
9月7日	0			13時	0
9月8日	0			14時	0
9月9日	0			15時	0
9月10日	0			16時	0
9月11日	0			17時	0
9月12日	0			18時	0
9月13日	0			19時	0
9月14日	0			20時	0
9月15日	0			21時	0
9月16日	0			22時	0
9月17日	0			23時	0
9月18日	0			0時	0
9月19日	0			1時	0
9月20日	0			2時	0
9月21日	0			3時	0
9月22日	0			4時	0
9月23日	0			5時	0
9月24日	0			6時	0
9月25日	0			7時	0
9月26日	0			8時	0
9月27日	0			9時	0
9月28日	0			10時	0
9月29日	0			11時	0
9月30日	0			12時	0
10月1日	0			13時	0
10月2日	0			14時	0
10月3日	0			15時	0
10月4日	0			16時	0
10月5日	0			17時	0
10月6日	0			18時	0
10月7日	0			19時	0
10月8日	0			20時	0
10月9日	0			21時	0
10月10日	0			22時	0
10月11日	0			23時	0
10月12日	0			0時	0
10月13日	0			1時	0
10月14日	0			2時	0
10月15日	0			3時	0
10月16日	0			4時	0
10月17日	0			5時	0
10月18日	0			6時	0
10月19日	0			7時	0
10月20日	0			8時	0
10月21日	0			9時	0
10月22日	0			10時	0
10月23日	0			11時	0
10月24日	0			12時	0
10月25日	0			13時	0
10月26日	0			14時	0
10月27日	0			15時	0
10月28日	0			16時	0
10月29日	0			17時	0
10月30日	0			18時	0
10月31日	0			19時	0
11月1日	0			20時	0
11月2日	0			21時	0
11月3日	0			22時	0
11月4日	0			23時	0
11月5日	0			0時	0
11月6日	0			1時	0
11月7日	0			2時	0
11月8日	0			3時	0
11月9日	0			4時	0
11月10日	0			5時	0
11月11日	0			6時	0
11月12日	0			7時	0
11月13日	0			8時	0
11月14日	0			9時	0
11月15日	0			10時	0
11月16日	0			11時	0
11月17日	0			12時	0
11月18日	0			13時	0
11月19日	0			14時	0
11月20日	0			15時	0
11月21日	0			16時	0
11月22日	0			17時	0
11月23日	0			18時	0
11月24日	0			19時	0
11月25日	0			20時	0
11月26日	0			21時	0
11月27日	0			22時	0
11月28日	0			23時	0
11月29日	0			0時	0
11月30日	0			1時	0
12月1日	0			2時	0
12月2日	0			3時	0
12月3日	0			4時	0
12月4日	0			5時	0
12月5日	0			6時	0
12月6日	0			7時	0
12月7日	0			8時	0
12月8日	0			9時	0
12月9日	0			10時	0
12月10日	0			11時	0
12月11日	0			12時	0
12月12日	0			13時	0
12月13日	0			14時	0
12月14日	0			15時	0
12月15日	0			16時	0
12月16日	0			17時	0
12月17日	0			18時	0
12月18日	0			19時	0
12月19日	0			20時	0
12月20日	0			21時	0
12月21日	0			22時	0
12月22日	0			23時	0
12月23日	0			0時	0
12月24日	0			1時	0
12月25日	0			2時	0
12月26日	0			3時	0
12月27日	0			4時	0
12月28日	0			5時	0
12月29日	0			6時	0
12月30日	0			7時	0
12月31日	0			8時	0

御嶽山頂付近(高度約3000m)の風及び気温の予想

平成26年11月27日 11時00分

時	12時	15時	18時	21時	24時	3時	6時	9時	12時
風向	北北西	北北西	北北西	西	西	南西	南西	南西	南西
風速(m/s)	14	10	5	3	7	10	12	12	13
気温(℃)	1	2	1	1	1	0	0	-1	-1

風向: 0m/s 1-4m/s 5-9m/s 10m/s以上

※この予想は、数値予報による高度約3000mの予想です。日射の影響等により、実際の山の気象状況とは異なる場合がありますのでご注意ください。

長野県の天気解説

27日は、高気圧に覆われる見込みです。

このため、晴れますが、北部では昼前まで雨の降る所があるでしょう。

<天気変化等の留意点>

27日12時から28日12時までの雨の予想はありません。

王滝村付近の天気

日	気象	27日	28日					
時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時
天気	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
3時間雨量(ミリ)	0	0	0	0	0	0	0	0
気温(℃)	9	9	3	1	0	2	1	4
風向	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
風速(m/s)	3	3	2	1	2	2	2	4

風向: 0m/s 1-4m/s 5-9m/s 10m/s以上

気温は各時間帯の初めの時間の予想値です。例えば18-21なら18時の予想値です。

復旧担当者・被災者向け気象支援資料(長野県王滝村)

平成26年11月27日 11時00分

週間天気予報(長野県中部・南部 気温: 松本)

日	28日(金)	29日(土)	30日(日)	1日(月)	2日(火)	3日(水)	4日(木)
天気	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
降水確率(%)	10/20/30/20	60	30	70	30	10	30
最高気温(℃)	15	18	16	12	7	6	7
最低気温(℃)	3	5	5	4	-2	-3	-2

降水確率の1日目は、0-6時-12時-18時-24時です。

長野県付近の天気分布予報

- 火山の状況に関する解説情報
- 活動の状況がわかる図表等
- 火山活動解説資料
- 噴火警報の補完情報
- 災害時気象支援資料
- 被災地市町村での天気予報等
- 上空の風向風速等
- (05時、11時、17時)

問い合わせ先 長野地方気象台 (026-232-2034)

7

火山登山者向け情報提供ページの公開（気象庁HP）

気象庁HP「火山登山者向け情報提供ページ」

2014年10月10日17時から提供開始

気象庁HPのトップページ

火山登山者向けの情報提供ページ

様々な火山情報に、気象庁向けに開発されている火山情報をもとに提供しています。

火山登山者や火山の状況に関する最新情報を見たい、という火山は各地方のページからご覧いただけます。

- 北海道
- 北海道地方
- 東北地方
- 関東・中部地方
- 中部・山梨・山梨県
- 中国地方
- 九州地方
- 沖縄地方

現在、噴火警報や火山の状況に関する解説情報を見たい火山(全国)

情報を知りたい火山を
リスト又は地図から選択

バナーからのリンク

※1 特別警戒中と表示されています。

※2 火山の状況に関する解説情報を見たい火山は表示されます。

火山登山者向けの情報提供ページは更新に際しては、閲覧に制限を設ける場合があります。

個別の火山の掲載情報は、
次のページを参照(御嶽山の例)


気象庁

気象庁HP「火山登山者向け情報提供ページ」

(例) 御嶽山の活動状況に関するページ

御嶽山の活動状況

平成27年4月25日17時00分更新

火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）

火口管理・予報

平成27年6月26日17時00分 気象庁地震火山部発表

<御嶽山>に火山口の警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表
 火口から約1kmの範囲では、噴火による被害が発生する可能性が
 <噴火警戒レベル2から火山高度および火口周辺規制により下げる>

火山活動の状況及び予報管理事項

御嶽山では、昨年5月の14日に10月中旬以降、噴火は継続されていません。噴煙が噴火源域に対して低くあがり、状況が安定しています。火山活動は12月に継続されています。

火山地盤変動については、昨年5月上旬以降は収縮が続いていますが、昨年6月以降は再び膨張傾向が見られます。

地殻変動観測では、火山活動の高まりを示す変化は継続されています。

以上のように、御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年10月中旬以降噴火が発生していないことから、昨年5月2日の噴火後の噴火の可能性は低いと見ています。しかしながら、噴火からの噴煙活動や地盤変動が起きていることから、昨年5月2日より噴火規模の小規模な噴火が今後次第的に発生する可能性は否定できません。

火口から約1kmの範囲では、噴火に伴う爆発音、落下物など大きな被害を警戒してください。

対象となる町界

以下の市町村では、火口周辺で火山崩落などの警戒が必要となります。
 長野県上水内郡 菅野村
 岐阜県下呂市

火山上の警戒事項等

火口から約1kmの範囲では、小規模な噴火に伴う爆発音、落下物など大きな被害を警戒する必要があります。

火山の状況に関する解説情報

平成27年6月26日17時00分 気象庁地震火山部発表

火山活動の状況

昨年10月から昨年5月2日の噴火までの期間の火山活動状況

御嶽山の火山活動は低下してきており、昨年5月の14日から5月27日まで同程度、またはそれより上部の規模の噴火が発生する可能性があるとなっています。

一、火口周辺の地盤変動が噴火活動が続いています。このことから、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

二、噴煙が灰色になる頻度では、噴煙高さ1000メートル以下で継続しています。

地殻変動観測では、火山活動の高まりを示す変化は継続されています。

(火山活動の回復は継続的に見られつつありますが、引き続き注意が必要です)

火山活動日時	火山活動内容
6月19日	350
6月20日	150
6月21日	250
6月22日	150
6月23日	250
6月24日	350
6月25日	250
6月26日(17時現在)	550

火山活動は継続されています。

防災上の警戒事項等

火口から約1kmの範囲では、噴火に伴う爆発音、落下物など大きな被害を大規模に警戒してください。これに加えて噴煙の高さが増えれば火口から約1kmより遠くでも大規模な警戒が必要となり、風の影響を受ける地域がさらに広くなる可能性があります。また、降灰時には土まじりの灰が降る場合がありますので注意してください。

最新の火山情報

- 噴火警報（火口周辺規制）御嶽山（平成27年6月26日17時00分）
- 火山の状況に関する解説情報（御嶽山）（平成27年6月26日16時00分）
- 火山活動監視状況（平成27年6月26日）

[次ページへ続く](#)

[illegible][illegible]

検討会の最終報告の主なポイント



火山観測体制等に関する検討会

1. 火山活動の観測・評価体制の強化

【観測体制の強化】

- ①水蒸気噴火の兆候をより早期に把握するための、火口付近への観測施設の増強等
- ②御嶽山の火山活動の推移を把握するための観測強化
- ③常時監視が必要な火山の追加（八甲田山、十和田、弥陀ヶ原）

【評価体制の強化】

- ①気象庁の監視・評価体制の改善と強化
 - ・火山研究者や専門家の火山活動評価への参画
 - ・火山専門家の指導による気象庁職員の人材育成
 - ・地元関係者とのネットワークの構築、機動観測の実施による現地の状況の把握、火山の地元大学等の研究者との意見交換の実施
- ②技術開発の推進と新たな観測技術の導入
 - ・水蒸気噴火の兆候をより早期に把握するための技術開発
 - ・監視担当者が効率的に総合的な監視を行える手法の開発
 - ・衛星による監視等リモートセンシング技術の利活用
- ③調査研究の着実な推進
 - ・火山現象を理解するための多様な学術分野の協働による研究の着実な推進
 - ・行政機関と大学・研究機関の協力による応用研究の推進
- ④調査・研究体制の強化
 - ・大学、研究機関等における火山噴火予知研究の推進を通じた人材の育成
 - ・行政機関における火山学の知識を有する人材の積極的な活用
 - ・関係機関間における多種目の観測データのより円滑な流通の検討

火山情報の提供に関する検討会

2. 情報発信の強化

【わかりやすい情報提供】

- ・噴火警報の発表基準の公表
 - ・火山活動の変化を観測した段階での情報提供
 - 臨時の発表であることを明記し、わかりやすい表現による「火山の状況に関する解説情報」を発表
 - ・噴火発生的事实を伝える「噴火速報」の発表
 - ・噴火警戒レベル1におけるキーワードの見直し
 - 「平常」から「活火山であることに留意」へ
- *火山防災対策推進ワーキンググループと連携して検討
- ・現地における情報収集、臨時の機動観測の適切な実施
 - ・日々の観測データをわかりやすく公表（気象庁ホームページ）

【情報伝達手段の強化】

- ・関係機関と連携した伝達手段の多様化
 - 地元自治体等と連携した現地での情報伝達体制の強化
 - 登山者等に向けた火山情報の携帯端末への伝達

3. 関係機関との連携強化

- ・火山防災協議会における定期的な火山活動状況の情報共有、山小屋の駐在者、登山ガイド等との平素からの情報共有
- ・火山防災協議会、地元の火山関係者等と連携した登山者等に対する周知啓発
- ・「火山防災対応手順」の作成と共有
 - 火山毎に噴火に至る火山活動を予め想定し、気象庁の情報発表等の対応を明確化
 - これに応じた地元防災対応を、火山防災協議会において「火山防災対応手順」として整理し、共有

噴火速報 (イメージ)

- 登山中の方や周辺住民に火山が**噴火した**ことを端的にいち早く伝える情報
- **8月上旬**をめどに運用を開始する予定

火山名 ○○山 噴火速報

平成△△年△△月△△日△△時△△分 気象庁地震火山部発表

＊＊(見出し)＊＊

<○○山で噴火が発生>

＊＊(本文)＊＊

○○山で、平成△△年△△月△△日△△時△△分頃、噴火が発生しました。

普及啓発用リーフレット

火山噴火をいち早くお知らせ

噴火速報

噴火速報は、登山中の方や周辺にお住まいの方に、火山が噴火したことを端的にいち早く伝えることにより、身を守る行動を取っていただくための情報です。

噴火速報の例

火山名 ○○山 噴火速報
 平成△△年△△月△△日△△時△△分 気象庁地震火山部発表
 ＊＊(見出し)＊＊
 <○○山で噴火が発生>

＊＊(本文)＊＊
 ○○山で、平成△△年△△月△△日△△時△△分頃、噴火が発生しました。

火山の噴火は、**命を脅かす**現象です。

火山の噴火に気がついたとき、噴火速報が発表されたときは、直ちに身の安全を固めましょう。逃げる時間はありません。



火山の噴火は、命を脅かす現象です。火山の噴火に気がついたとき、噴火速報が発表されたときは、直ちに身の安全を固めましょう。逃げる時間はありません。

気象庁

噴火速報の発表を知るには？

テレビやラジオ、防災行政無線や携帯端末などで知ることができます。

事業者が提供するサービス

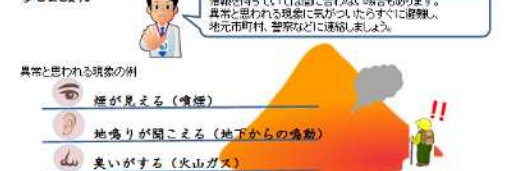
※平成27年8月時点でのサービス提供状況



火山噴火から身を守るために

油断は禁物！普段はおとなしい火山でも、前触れもなく噴火することもあります。

いつでも安全な措置をとれるように、事前に避難場所や避難経路、噴火が発生したときの行動(シュルターや岩陰に身を隠すなど)、最新の火山情報を確認してから入山しましょう。また、噴火速報を入手できるように、携帯電話等の通信機器とその予備電池を持参しましょう。



気象庁 100-8122 東京都千代田区大塚1-3-4 気象庁 噴火速報 検索